

地域活性化包括連携協定調印式 3月30日



島根県飯南町 × 株式会社 LULL × 一般社団法人 離島百貨店
地域活性化包括連携協定 締結式
左から(一社)離島百貨店 代表理事 青山富寿生さん、塚原町長、(株)LULL 代表取締役 仁藤敬介さん

飯南町と(株)LULL(一社)離島百貨店は、相互連携を強化するため、地域活性化包括連携協定を締結しました。

本年度から両社と連携し、地域おこし協力隊制度を活用した新たな人口減少対策に取り組みます。

●(株)LULL
東京都に本社を置くIT企業。IT人材不足、地域格差、教育格差など社会課題解決を目指す。

●(一社)離島百貨店
東京都を拠点に地域活性化のための人材育成等に取組む。

春の全国交通安全運動 4月6日～4月15日



交通事故ゼロを目指し、軽トラで交通安全を啓発

春の全国交通安全運動期間に合わせ、交通安全啓発活動を行いました。

6日には、赤来ライオンズクラブと森島建設が交通安全パレードを実施。のぼり旗を載せた軽トラックが赤来地域を1周しました。

8日からは町内各地で街頭指導を実施。町内の事業所や団体、公民館などの協力のもと、小学生が乗降するスクールバス停留所付近などで声掛けを行いました。

歩行者、運転者ともに事故の当事者とならないよう、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を呼びかけました。

企業版ふるさと納税 企業紹介



3月12日に感謝状を贈呈しました

(株)山陰開発コンサルタント 代表取締役 樺島正浩様 寄附額100万円

同社は昭和37年松江市に創立。道路・河川・上下水道など国及び地方公共団体の技術的パートナーとして、社会資本整備の一翼を担っています。

求められる技術・知識は益々高度化する中で、常に技術の向上・研究を行っています。

令和2年2月には、飯南町内に営業所を開設。地域に密着した建設コンサルタントとして、道路改良工事や災害復旧工事など、速やかに対応しています。

法務大臣から感謝状贈呈



人権擁護委員を退任された木村康男さん(頼原)に、法務大臣から感謝状が贈呈されました。

木村さんは、平成19年から6期19年にわたり、人権擁護委員に就任し、令和7年12月末をもって退任。人権思想の普及や啓発活動を行い、悩みを抱える人のために尽力されました。

人権擁護委員として活動してきた長年の功績が認められ、松江地方支局出雲支局の大島積支局長から感謝状が伝達されました。

75歳塾 3月13日



輪投げやスリッパ飛ばしなどで盛り上がったミニ運動会

今年度75歳を迎える人を対象に「75歳塾」を開催しました。

安心して75歳を迎えるため、後期高齢者医療制度や介護保険制度等について説明。困った時の相談先や支援制度をまとめたファイルを参加者へ配布しました。

飯南病院三上副院長が、元気に年を重ねるための健康づくりについて講話。町社会福祉協議会によるミニ運動会では、明るい笑い声が響き、互いの交流を深めました。

今後も地域包括支援センターを中心に、安心して暮らせるまちづくりに取り組めます。

はやしこの研究報告 3月13日



はやしこに関する資料が少なく苦労したと話す太歳さん(左から2人目)

「はやしこ」をテーマに卒業研究をした、本町出身で島根県立大学の太歳楓さんが教育委員会を訪れ、研究報告を行いました。

この研究は、はやしこにおける女性の役割と文化の伝承を調査。裏方などの補助的役割を女性が担うはやしこの運営体制や構造に課題を感じ、ジェンダーからの観点でははやしこに着目しました。

太歳さんは「運営面への女性の参加が、はやしこ文化の継承に繋がるのではないかと」所感を話しました。

太歳さんの論文は、中央図書館で読むことができます。

地域探究活動成果発表会 3月13日



根拠データや活動の様子を紹介する佐々木さん

地域課題解決策などを考える探究活動に取り組んだ2人の活動発表を行いました。

授業で探究活動に取り組む飯南高校生に向けて発表。まちの未来を考え、行動する大人たちの取組を伝えました。

●藤野 翔太郎さん
飯南町に3カ月滞在し、まちの魅力を表現する動画を制作。(動画はYouTubeで閲覧可能)

●佐々木 康弘さん(上米島)
子どもの創造性、主体性を引き出す環境づくりとして、放課後に外で自由に遊べる空間を創出。

飯南町人権研修会を開催 3月14日



和太鼓、篠笛奏者でもある山中さんが演奏する場面も

令和7年度飯南町人権研修会を開催し、兵庫県尼崎市出身の山中裕貴さんを講師に、同問題や人権について講演会を開催しました。

同問題は、江戸時代の身分制度が元で形成された偏見や差別意識が、現在でも残っている社会問題。日本に残る差別問題を山中さんが生い立ちや経験を交えて話すと、来場者は、長く続く人権問題に熱心に耳を傾けていました。

今後も研修会の開催を継続するなど、人権に対する意識の醸成を図るための機会を設けていきます。